

令和3年度

中遠広域事務組合会計
歳入歳出決算審査意見書

中遠広域事務組合監査委員

中 広 事 監 第 6 号
令 和 4 年 8 月 8 日

中遠広域事務組合管理者
磐田市長 草地 博昭 様

中遠広域事務組合監査委員
磐田市監査委員 鈴木 得 郎
同 東 功 一

令和3年度中遠広域事務組合会計歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法第292条において準用する第233条第2項の規定に基づき、令和3年度中遠広域事務組合会計歳入歳出決算について審査したので、別紙のとおり意見を提出する。

目 次

1. 審査の対象	-----	1
2. 審査の期間	-----	1
3. 審査の方法	-----	1
4. 審査の結果及び意見		
(1) 審査の結果	-----	1
(2) 意 見	-----	1
5. 決算の概要		
ア. 歳 入	-----	2
イ. 歳 出	-----	4
6. 実質収支に関する調書	-----	5
7. 財産に関する調書	-----	5
令和3年度決算審査付表	-----	7

令和3年度中遠広域事務組合会計歳入歳出決算審査意見

1. 審査の対象

令和3年度 中遠広域事務組合会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和4年6月30日から令和4年8月8日まで

3. 審査の方法

中遠広域事務組合管理者から提出された中遠広域事務組合会計歳入歳出決算書類が、地方自治法等関係法令に準拠して作成されているかを検証するため、抽出により関係諸帳票及び証書類との照合を行ったほか、関係職員から説明を聴取して組合監査基準に基づき審査を実施した。

4. 審査の結果及び意見

(1) 審査の結果

審査に付された令和3年度中遠広域事務組合会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書はいずれも地方自治法等関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りは認められず、かつ、関係諸帳票及び証書類の処理を検査した結果、適正であると認められた。

(2) 意見

ごみの搬入量は、前年度ほどではないものの依然多い状況が続いている。管理する各施設においては、従来から適切な維持管理及び経費の節減に努められているが、施設の老朽化及び不安定な社会情勢の影響で懸念される物資等の高騰などにより、管理運営のために多くの費用が必要となることが予想される。

今後も継続して経費節減に努めることにより、持続可能な施設運営を図るとともに、構成市町との連携を一層密にし、地元住民が安全で安心して暮らすことができるよう、引き続き所管する各施設の良好な維持管理に万全を尽くされたい。

5. 決算の概要

決算の状況は、次のとおりである。

予算現額	869,628千円
収入済額	876,301千円
支出済額	803,094千円
差引残額	73,207千円
うち財政調整基金繰入額	36,700千円

決算額を前年度に比べると、歳入では169,662千円、16.2%の減、歳出では173,736千円、17.8%の減となっている。

ア. 歳入

(単位 金額：円・比率：%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率
3 年 度	869,628,000	876,301,739	876,301,739	100.8	100.0
2 年 度	1,011,590,000	1,045,963,754	1,045,963,754	103.4	100.0
比 較 増 減	△ 141,962,000	△ 169,662,015	△ 169,662,015	△ 2.6	0.0
増 減 率	△ 14.0	△ 16.2	△ 16.2	—	—

※「執行率」=収入済額÷予算現額×100 (小数点第2位四捨五入)

※「収入率」=収入済額÷調定額×100 (小数点第2位四捨五入)

(単位 金額：円・比率：%)

款 別	年 度	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	構成比	増減率
								増減額
1 分担金及び負担金	3	719,799,000	719,799,000	719,799,000	100.0	100.0	82.1	△ 14.1
	2	838,124,000	838,124,000	838,124,000	100.0	100.0	80.1	△ 118,325,000
2 使用料及び手数料	3	931,000	912,500	912,500	98.0	100.0	0.1	△ 0.7
	2	915,000	919,181	919,181	100.5	100.0	0.1	△ 6,681
3 財産収入	3	6,628,000	22,495,227	22,495,227	339.4	100.0	2.6	133.8
	2	6,077,000	9,621,934	9,621,934	158.3	100.0	0.9	12,873,293
4 繰入金	3	40,000,000	40,000,000	40,000,000	100.0	100.0	4.6	2.6
	2	39,000,000	39,000,000	39,000,000	100.0	100.0	3.7	1,000,000
5 繰越金	3	15,900,000	34,533,859	34,533,859	217.2	100.0	3.9	△ 15.2
	2	9,900,000	40,743,891	40,743,891	411.6	100.0	3.9	△ 6,210,032

(単位 金額：円・比率：%)

款 別	年度	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	構成比	増減率
								増減額
6 諸収入	3	70,000	61,153	61,153	87.4	100.0	0.0	11.7
	2	74,000	54,748	54,748	74.0	100.0	0.0	6,405
7 組合債	3	86,300,000	58,500,000	58,500,000	67.8	100.0	6.7	△ 50.2
	2	117,500,000	117,500,000	117,500,000	100.0	100.0	11.2	△ 59,000,000

※「構成比」＝款の収入済額÷合計収入済額×100 (小数点第2位四捨五入) 構成比の合計は100%に満たない場合がある。

※「増減率」＝(現年収入済額－前年収入済額)÷前年収入済額×100 (小数点第2位四捨五入)

歳入決算額は、876,301,739 円で、予算現額に対して 100.8%の執行率、調定額に対して 100.0%の収入率であり、前年度比 169,662,015 円、16.2%の減となっている。この主な理由は、1 款分担金及び負担金において、構成市町分担金の減額及び 7 款組合債において、ごみ処理施設整備事業債の減額によるものである。

1 款 分担金及び負担金は、構成市町分担金及び容器包装プラスチック類の処理にかかる費用の負担金であり、決算額は 719,799,000 円で歳入総額の 82.1%を占めており、前年度比 118,325,000 円、14.1%の減となっている。この主な理由は、粗大ごみ処理施設の長寿命化修繕工事の延伸等による分担金の減額によるものである。

2 款 使用料及び手数料は、行政財産目的外使用料であり、決算額は 912,500 円で前年度比 6,681 円、0.7%の減となっている。

3 款 財産収入は、財産運用収入及び財産売払収入であり、決算額は 22,495,227 円で前年度比 12,873,293 円、133.8%の増となっている。この主な理由は、物品売払い重量は減ったものの、有価物全体の取引価格が上昇したことによるものである。

4 款 繰入金は、財政調整基金からの繰入れであり、決算額は 40,000,000 円で前年度比 1,000,000 円、2.6%の増となっている。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響による税込減を考慮し、構成市町分担金を減額するために増額したものである。

5 款 繰越金は、前年度からの繰越金であり、決算額は 34,533,859 円で前年度比 6,210,032 円、15.2%の減となっている。

6 款 諸収入は、預金利子及び雑入であり、決算額は 61,153 円で前年度比 6,405 円、11.7%の増となっている。

7 款 組合債は、ごみ処理施設整備事業債であり、決算額は 58,500,000 円で前年度比 59,000,000 円、50.2%の減となっている。これは、工事にかかる借入額が前年度と比較し減額になったことによるものである。

イ. 歳 出

(単位 金額：円・比率：%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3 年 度	869,628,000	803,093,841	0	66,534,159	92.3
2 年 度	1,011,590,000	976,829,895	0	34,760,105	96.6
比較増減	△ 141,962,000	△ 173,736,054	0	31,774,054	△ 4.3
増 減 率	△ 14.0	△ 17.8	0	91.4	—

※「執行率」=支出済額÷予算現額×100 (小数点第2位四捨五入)

(単位 金額：円・比率：%)

款 別	年 度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	構成比	増減率
								増減額
1 議会費	3	378,000	339,846	0	38,154	89.9	0.0	△ 6.3
	2	378,000	362,863	0	15,137	96.0	0.0	△ 23,017
2 総務費	3	64,512,000	62,508,981	0	2,003,019	96.9	7.8	△ 8.2
	2	71,186,000	68,089,458	0	3,096,542	95.7	7.0	△ 5,580,477
3 事業費	3	590,276,000	527,198,112	0	63,077,888	89.3	65.6	△ 11.9
	2	628,955,000	598,328,558	0	30,626,442	95.1	61.3	△ 71,130,446
4 公債費	3	213,462,000	213,046,902	0	415,098	99.8	26.5	△ 31.3
	2	310,071,000	310,049,016	0	21,984	100.0	31.7	△ 97,002,114
5 予備費	3	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	0.0	—
	2	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0	0.0	0

※「構成比」=款の支出済額÷合計支出済額×100 (小数点第2位四捨五入) 構成比の合計は100%に満たない場合がある。

歳出決算額は、803,093,841 円で、予算現額に対して 92.3%の執行率であり、前年度比 173,736,054 円、17.8%の減となっている。この主な理由は、一般廃棄物最終処分場の堰堤工事費が増加したものの、粗大ごみ処理施設の長寿命化修繕工事を延伸したことによる工事費の減額及び最終処分場建設費の元金償還金の減額によるものである。

1 款 議会費は、組合議会議員の報酬及び議会の運営に要する経費であり、決算額は 339,846 円、執行率は 89.9%で前年度比 23,017 円、6.3%の減となっている。

2 款 総務費は、派遣職員人件費にかかる事務委託料等であり、決算額は 62,508,981 円、執行率は 96.9%で前年度比 5,580,477 円、8.2%の減となっている。この主な理由は、最終処分
のあり方検討業務委託料の皆減によるものである。

3 款 事業費は、磐田市新貝の粗大ごみ処理施設、袋井市宇刈及び森町一宮の最終処分場の管理運営・維持補修にかかる経費であり、決算額は 527,198,112 円、執行率は 89.3%で前年度比 71,130,446 円、11.9%の減となっている。この主な理由は、一宮の最終処分場の堰堤
工事を施工したものの、粗大ごみ処理施設の長寿命化修繕工事を一年間延伸したことに伴い工事費が全体として減額となったことによるものである。

4 款 公債費は、ごみ処理施設整備事業債に対する元金償還及び利子の支払であり、決算額は 213,046,902 円、執行率は 99.8%で前年度比 97,002,114 円、31.3%の減となっている。これは、最終処分場建設費の元金償還が減額となったことによるものである。

5 款 予備費は、不測の経費に備え計上したが、執行はなかった。

6. 実質収支に関する調書

令和 3 年度決算においては、歳入総額 876,301 千円、歳出総額 803,094 千円で、歳入歳出
差引額は 73,207 千円であり、翌年度へ繰り越すべき財源はないため、実質収支額は歳入歳出
差引額と同額となっている。

7. 財産に関する調書

(1) 公有財産（土地及び建物）

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
土 地	145,558 m ²	—	145,558 m ²
建 物	9,728 m ²	—	9,728 m ²

令和 3 年度末現在高の合計は、土地が 145,558 m²、建物が 9,728 m²となっている。決算年
度中に土地及び建物に関する増減はなく、令和 2 年度末現在高と同様である。

(2) 物 品

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
物 品	14 点	—	14 点

令和3年度末現在高の車両等の合計は14点となっている。決算年度中における物品の増減はなく、令和2年度現在高と同様である。

(3) 基 金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
財政調整基金	130,497 千円	△5,398 千円	125,099 千円

令和2年度末の財政調整基金現在高は130,497千円となっている。決算年度中において、前年度実質収支額の2分の1に相当する34,600千円及び預金利子2千円を積立てたものの、40,000千円の取崩しを行ったことから、前年度より5,398千円減少している。

令和3年度決算審査付表

近年における中遠広域事務組合会計決算規模推移表

(単位 金額:千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	金額	指数	金額	指数	金額	指数
歳入	875,573	100.0	883,921	101.0	956,000	109.2
歳出	821,857	100.0	820,507	99.8	849,767	103.4

令和元年度		令和2年度		令和3年度	
金額	指数	金額	指数	金額	指数
1,093,467	124.9	1,045,963	119.5	876,301	100.1
1,011,924	123.1	976,830	118.9	803,094	97.7

(注) 指数は、平成28年度を基準とした。

(単位:千円)

